

## ごみ処理の基本理念、基本方針及び減量化等目標

### ◆ 基本理念

「第2次ふるさと向日市創生計画」では、ごみの減量化や資源再利用の取組を強化するとともに、地球温暖化や海洋プラスチック問題をはじめとする環境問題に取り組むこととしています。環境問題の解決には、ごみの発生そのものの抑制、再生利用を一層徹底していく必要があります。

本市では、ごみの減量及び資源再利用を重点的に推進し、持続可能な循環型社会を実現します。

### ◆ 基本方針

本計画では、以下の基本方針に基づいて、一般廃棄物の3R及び適正な処理を推進し、地球温暖化防止や海洋プラスチックごみの削減にも取り組みます。

#### 1) 市民、事業者、市の連携によるリデュース・リユースの推進

3Rの中でも優先順位の高いリデュース（発生抑制）、リユース（再使用）を重点事項と位置づけ、食品ロスやプラスチックごみなどの削減を3者の連携により推進していきます。

#### 2) ごみの中から資源を回収し環境にやさしいまちづくり

市は資源回収の必要性の啓発を行うとともに、よりリサイクルしやすい環境を整え、市民、事業者はごみとして出す前に資源の分別を積極的に行うことで、資源循環型社会をつくれます。

#### 3) 将来の環境を考えた環境負荷の少ない適正な処理

ごみ処理においては、環境負荷を考えた適正な処理を行うほか、エネルギー回収にも積極的に取り組み、温暖化防止を含めた将来の環境保全につなげていきます。

#### 4) ルールとマナーがつくる美しく快適なまちづくり

美しいまちをつくり、海洋プラスチック問題の解決も図るため、明確なごみ出し

ルールやマナーを共有するとともに、市民と一体となってその回収や散乱防止に取り組み、ポイ捨てごみのない美しく快適なまちを実現します。

## ◆ 数値目標

### 1) 減量化目標

本市では、表 2-6-1 に示すとおり、目標を設定するものとします。

ごみ排出量の減量目標として、「総排出ごみ量（集団回収及び拠点回収を含む収集ごみと直接搬入ごみの合計）」の年間量及び一人一日当たりの原単位、家庭から排出される「収集ごみ（資源ごみを含む）」の一人一日当たりの排出原単位の年度当たりの排出量について、総排出ごみ量は 12,565t/年（685 g/人・日）に、収集ごみ量は 426 g/人・日に削減することを目指します。

表 2-6-1 減量化目標

区 分	単 位	実績 (R1 年度)	計画 5 年後 (R8 年度)	計画 10 年後 (R13 年度)	目標年次 (R18 年度)
収集ごみ量 (収集ごみ量原単位)	g/人・日	519	451	438	426
総排出ごみ量 (総排出ごみ量原単位)	t/年 (g/人・日)	14,645 (695)	13,402 (666)	13,166 (682)	12,565 (685)

注) 「収集ごみ量」は、資源ごみを含む収集ごみの合計を示します。

「総排出ごみ量」は、収集ごみ、直接搬入ごみ、集団回収及び拠点回収の合計を示します。

### 2) 再生利用率目標

再生利用率目標の設定は、表 2-6-2 を参考に、家庭から排出される可燃ごみに混入している資源ごみ（資源回収など住民が排出できるルートが確立している品目として、缶類、ビン類、ペットボトル、その他プラスチック類、新聞、段ボール、雑誌、繊維類、紙パック）について、混入している資源ごみの半分を資源回収することを目指し、可燃ごみから資源ごみへと移行し、資源ごみの回収量（集団回収及び拠点回収を含む）を向上することにより、表 2-6-3 に示すとおり、再生利用率を約 17%とすることを目標とします。

表 2-6-2 再生利用量の目標（令和 18 年度）

(g/人・日)

区分	令和元年度				令和18年度予測値				目標値設定の考え方
	本市実績		全国値実績（参考）		本市目標値				
			集団回収	中間処理後再生利用量					
	集団回収等回収量	中間処理後再生利用量	回収量	再生利用量	集団回収等回収量	中間処理後再生利用量	合計	品目別再生利用率	
平均値 (上位25%値)			平均値 (上位25%値)						
カン類	—	8.68	2.00 (2.44)	15.56 (21.83)	0.56	9.47	10.03	1.5%	カン類の消費量は年々減少しているほか、事業者による素材の軽量化等も進められていますが、収集量はほぼ一定となっています。また、可燃ごみに混入している状況もあることから、市の再生利用量の目標は10.03g/人・日とします。
ビン類	—	11.86	0.21 (0.39)	12.56 (17.47)	1.33	10.52	11.85	1.7%	ビン類の生産量は年々減少しているほか、事業者による素材の軽量化等も進められていることから、収集量は減少傾向にあります。また、可燃ごみに混入している状況もあることから、市の再生利用量の目標は、11.85g/人・日とします。
新聞	—	—	46.75 (82.18)	18.28 (47.52)	39.16	—	39.16	5.7%	新聞は可燃ごみに混入している状況もあることから、可燃ごみ混入分の約半分(7.86g/人・日)を回収することとします。また、集団回収が既に開始されている状況もあることを踏まえて、全国の同一人口規模の自治体の集団回収量の平均値を参考として、30g/人・日を加えた値である39.16g/人・日を市の目標とします。
雑誌	—	—	—	—	6.29	—	6.29	0.9%	雑誌の消費量は減少傾向にありますが、可燃ごみに混入している状況もあることから、可燃ごみ混入分の約半分を回収することとして、市の目標は6.29g/人・日とします。
ダンボール	—	—	1.39 (—)	9.45 (16.01)	4.72	—	4.72	0.7%	ダンボールの消費量は年々増加していますが、可燃ごみに混入している状況もあることから、可燃ごみ混入分の約半分を回収することとして、市の目標は4.72g/人・日とします。
紙パック	0.09	—	0.30 (0.59)	0.19 (0.26)	1.68	—	1.68	0.2%	可燃ごみに混入している状況もあることから、可燃ごみ混入分の約半分を回収することとして、市の目標は1.68g/人・日とします。
古繊維等	—	—	2.93 (82.18)	11.36 (—)	9.44	—	9.44	1.4%	可燃ごみに混入している状況もあることから、可燃ごみ混入分の約半分を回収することとして、市の目標は9.44g/人・日とします。
ペットボトル	—	4.32	1.9 (—)	5.87 (8.19)	0.56	6.06	6.62	1.0%	ペットボトルの消費量は年々増加していますが、同時に事業者による素材の軽量化等も進められています。また、可燃ごみに混入している状況もあることから、可燃ごみ混入分の約半分を回収することとして、市の再生利用量の目標は6.62g/人・日とします。
その他 プラスチック類 (トレイ含む)	—	5.94	—	17.99 (27.16)	—	24.96	24.96	3.7%	プラスチック製容器包装の出荷数量は年々増加していますが、同時に事業者による素材変更の開発や軽量化等も進められています。また、可燃ごみに混入している状況もあることから、可燃ごみ混入分の約半分を回収することとして、市の再生利用量の目標は24.96g/人・日とします。
合計	—	—	—	—	63.74	51.01	114.75	16.8%	

注) 全国値については、一般廃棄物処理実態調査結果より引用し、各都市の原単位を平均した値を採用しました。  
 全国値とは、全国の自治体のうち、向日市と人口規模（52,000～62,000人）が同等な自治体の値を集計したものです。  
 再生利用量とは、資源として引き取られる量を示します。したがって、集団回収で集められたものはそのまま資源として引き取られるのでその量ですが、資源ごみとして収集されたものは、中間処理施設などで不純物を除去したのちに引き取られる量となります。  
 新聞、ダンボール、紙パック及び古繊維等の全国値は集団回収の値を採用しました。  
 全国値の「ダンボール」には、「03紙製容器包装」の値を示します。  
 全国値の「新聞」には、「02紙パック」と「03紙製容器包装」を除いた「01紙類」の値を示します。  
 全国値の「古繊維等」には、「09布類」の値を示します。  
 全国値の「カン類」には、「04金属類」の値を示します。  
 全国値の「ビン類」には、「05ガラス類」の値を示します。

表 2-6-3 再生利用率目標

区 分	単 位	実績 (R 元年度)	計画 5 年後 (R 8 年度)	計画 10 年後 (R13 年度)	目標年次 (R18 年度)
再生利用率 (再生利用量)	% ( t /年)	4.4 (649)	9.9 (1,326)	14.4 (1,892)	16.8 (2,105)

注) 「再生利用率」は「一般廃棄物総排出量」に対する割合を示します。

### 3) 最終処分量削減目標

最終処分量の削減目標については、上記減量化目標と再資源化目標の達成により令和元年度実績より 28%の削減を図ります。

表 2-6-3 最終処分量削減目標

区 分	単 位	実績 (R 元年度)	計画 5 年後 (R 8 年度)	計画 10 年後 (R13 年度)	目標年次 (R18 年度)
最終処分量 (令和元年度比)	% ( t /年)	— (2,392)	-17.5 (1,973)	-22.9 (1,845)	-28.3 (1,714)

注) 表中の ( ) 内の数値は、将来予測に基づいた値を示します。

